

## 自己評価票

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                             | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)      |
|--------------------|--|---|-------------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>  |  |   |                                     |
| <b>1. 理念と共有</b>    |  |   |                                     |
| 1                  | 地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 全スタッフで話し合い、当グループホーム独自の理念を決めている。毎年のテーマも話し合いで決めている  |                                     |
| 2                  | 理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 各階ホール入り口に掲げ、相談し合い、取り組んでいる                         | ミーティングなどで折に触れスタッフに定着させる<br>朝礼時理念の唱和 |
| 3                  | 家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | ふれあい通信や行事参加などで発信している                              | ふれあい通信の工夫                           |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |  |   |                                     |
| 4                  | 隣近所とのつきあい<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩中、ゴミ出しの際など挨拶をすすんで行っている<br>お茶会などで声をかけている         | 近隣の独居の方をホームへ招待する日を作る                |
| 5                  | 地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 夏祭りへお誘いしたり、町内での行事の時は声をかけていただきでかけている<br>朝清掃に参加している | こちらから出かける機会を多くする                    |

| 項 目                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                             |
|------------------------------|---|--|--|
| 6                            | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                |  | <p>定期的に認知症についての冊子を配布<br/>勉強会の開催</p>                        |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |  |  |
| 7                            | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                         | <p>全スタッフ年に1回自己評価を行うことで、見直しにはなっている</p>                        | <p>評価時に改善するべき点をミーティングで取り上げ、実践につなげていく</p>                   |
| 8                            | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>         | <p>会議では、ふれあいの家現状や取り組み状況を報告し、そこで頂いた意見を参考にしてサービス向上に活かしている。</p> |  |
| 9                            | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                          | <p>運営推進会議以外では、あまり行き来する機会がない。</p>                             | <p>今後は市町村との連携をもっととるようにしたい。</p>                             |
| 10                           | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>管理者や一部職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学んでいる。</p>                   | <p>学ぶ機会を持つようにする。</p>                                       |
| 11                           | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>          | <p>虐待防止については常に注意はしているが、詳しいことは学んでいない</p>                      | <p>虐待について学ぶ機会を設け、全スタッフで虐待の定義を共有することで、閉ざされた環境がないよう努めていく</p> |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                 |
|------------------------|---|-------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |                   |  |
| 12                     | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            |                   |  |
| 13                     | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           |                   | <p>日々の利用者の言動から思いを察し、ミーティングや申し送りノートを活用して、利用者の声を反映できるよう努めていく</p> |
| 14                     | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>         |                   | <p>全スタッフが全ての家族との関係を築けるようにする</p>                                |
| 15                     | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           |                   | <p>家族が意見を出しやすいように関係を密にしていく</p>                                 |
| 16                     | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       |                   | <p>日常的に報告、相談を密に行っていく</p>                                       |
| 17                     | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> |                   | <p>個別対応ができるよう余裕のある人員配置が可能なスタッフ数の確保</p>                         |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|--------------------------------|
| <p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>各ユニットのスタッフは固定化され、基本的には異動はほとんどない。異動があった場合や、新しいスタッフが入った時は、利用者きちんと説明・紹介をしている。</p> |                   |                                |
| <p><b>5.人材の育成と支援</b></p>  |   |                   |                                |
| <p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | <p>社内の研修や外部研修への参加を勧めている。</p>  |                   |                                |
| <p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | <p>利用者と一緒に他のグループホームに行ったり他施設の職員が見学に訪れたりしている</p>                                    |                   |                                |
| <p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                       | <p>定期的実施している個人面談で悩みをすくいあげたり、日頃から話しをよく聴くように努めている</p>                               |                   |                                |
| <p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           | <p>職員個々に年間の目標を決めてもらい、個人面談で達成状況の確認、フォローアップに努めている。</p>                              |                   |                                |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                    |
|----------------------------------|---|--|---|
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |   |  |   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |   |  |   |
| 23                               | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                   | <p>事前に面会し、本人の希望を出来るだけ伺うよう努めている</p> <p>入居後も寄りそえるように努力している</p>   |   |
| 24                               | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                        | <p>細かなことでも相談し合う関係作りに努めている</p>  |   |
| 25                               | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>                                | <p>まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>  |   |
| 26                               | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>本人のなじみの物を用意していただき、なじみやすい環境を整えている</p>  | <p>本人の状況にあった取り組みができるよう、家族との連携の強化</p>                              |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |   |  |   |
| 27                               | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                        | <p>尊重することを忘れず、一方的な関わりにならないよう努めている 一人一人の気持ちを汲み取り、共に過ごす中で支えあえるようなケアを行うように心がけている</p> <p>その反面、全ての利用者に対して行えていない</p> | <p>全ての利用者が個々の持つ特技や、昔培った技術などを把握することに努め、それを活かせるような活動や環境作りを行っていく</p> |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|---|---|-------------------|--|
| 28<br>本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時入居者の日々の様子を伝え、家族の思いや希望を伺うことで、本人を共に支えていくという意識も生まれ、協力し合えるような関係を築いている                                      |                   | 把握している範囲外の事柄についても、広く細かく情報収集に努める<br>全スタッフが対応できるようにする                              |
| 29<br>本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 入居者、家族、お互いの思いを尊重し、良い関係築けるよう努めている<br>(外出をすすめる、行事へお誘いする 等)  |                   | 専門的な分野も含め、家族の不安を取り除くことで足を運びやすい状態を作っていく   |
| 30<br>馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 家族だけでなく、友人とのつながりも大切にし、お食事会などできないかお願いしている<br>全ての利用者に行えていない   |                   | さらに情報収集を行い、一人一人なじみの場所や人との関係が途切れることのないように支援していく<br>なじみの人がいる方には、家族に相談をし、働きかけを行っていく |
| 31<br>利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | お茶や食事の際スタッフが中に入り、入居者同士のコミュニケーションが円滑になるよう配慮している<br>さまざまな場面で利用者同士が関わる機会が持てるよう、会話のサポートをしたり、トラブルにならないよう注意している |                   | トラブルが起こらないようその日その日の状況を把握していく<br>小集団での働きかけを行っていく                                  |
| 32<br>関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 他事業所へ移られた方には、行事へ呼ばれた際や、スタッフが面会に行くなどのつながりはある   |                   | 行事へ参加していただく<br>ふれあい通信を継続して郵送したり、利用中の写真をアルバムにしてお渡りする                              |

| 項目                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                              |
|---------------------------------------|--|--|---|
| <b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>      |  |  |   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |  |  |   |
| 33                                    | 思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日々の関わりの中で、本人に直接伺ったり、入居者の言動や表情から気持ちを汲み取り、スタッフで共有することで個々のケアにつなげていけるよう努めている | 家族からも情報提供していただけるよう働きかける                                     |
| 34                                    | これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 家族や友人など面会時に、話を伺うことで情報収集を続けている  | 常に決まった関係者からの聞き取りだけでなく、疎遠になりがちな関係者に会う機会がある際は情報収集を行う          |
| 35                                    | 暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 一人一人の生活の過ごし方を尊重し、日々それぞれが感じたことや、利用者の現状を記録に記したり、伝えることで全スタッフが把握できるよう努めている   | さまざまな角度から観察が行えるようにする  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |  |  |   |
| 36                                    | チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 入居者がその人らしく生活していくために必要な介護計画ができている<br>本人や家族の希望を反映させた介護計画を作成している            | 健康面やADLだけでなく、本人の趣味や嗜好を把握し、楽しめる日常生活の提供<br>トータルのケアのできる介護計画の作成 |
| 37                                    | 現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画についてはミーティングなどで見直しを行い、スタッフ間の話し合いができている<br>変化が生じてすぐには行っていない            | 細かな状況変化のたびに作成していく   |

| 項 目                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                             |
|------------------------------------|--|-----------------------|--|
| 38                                 | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>    |                       | <p>共有した情報をさらに日々のケアに活かしていく実践へつなげていく</p>                     |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |                       |  |
| 39                                 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>              |                       |  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |                       |  |
| 40                                 | <p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>             |                       | <p>入居者の入退居などに伴い、こまめに連絡をとる</p>                              |
| 41                                 | <p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>  |                       |  |
| 42                                 | <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> |                       | <p>運営推進会議には、地域包括支援センターの職員に参加いただいているが、連携を図るところまではいっていない</p> |



| 項目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|----|---|-------------------|---------------------------------|
| 43 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>   |                   |                                 |
| 44 | <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |                   |                                 |
| 45 | <p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   |                   |                                 |
| 46 | <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |                   |                                 |
| 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   |                   | <p>家族の意向を事あるごとに確認していく</p>       |
| 48 | <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |                   | <p>利用者のあらゆる変化に備えた話し合いを行っていく</p> |

| 項目                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 49                                   | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | <p>今までの生活リズム、支援してきたこと、性格、注意事項などの情報をきちんと提供している<br/>その後の連携も細かに行なっている</p> | <p>サマリーの作成</p>   |
| <p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> |  |  |  |
| <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>        |  |  |  |
| <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>                  |  |  |  |
| 50                                   | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                                       | <p>できているスタッフとできていないスタッフがあり、他者の目も気にせず声かけを行っている場面あり</p>                  | <p>その時々々の状況を判断し、口調や語調を調節していく 全スタッフが利用者のプライドを傷つけるような発言を無くす<br/>プライバシーに関することを他者に話さないよう、ミーティング時にはスタッフの意識向上を図る</p> |
| 51                                   | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>                   | <p>状況によってはスタッフが決めることもあるが、なるべく入居者の希望や選択を尊重している<br/>(外食時のメニュー選び など)</p>  | <p>選択肢を提案することで、自分で決められる場面を多く作り、より暮らしやすい環境を作っていく</p>  |
| 52                                   | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>                        | <p>基本の流れはあるものの、一人一人の思いに臨機応変に対応しているが、毎日支援できず</p>                        | <p>スタッフ間で話し合いを多く持ち、全スタッフが個々のペースに合わせた柔軟な対応ができるようにしていく</p>   |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> |  |  |  |
| 53                                   | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                                    | <p>定期的に理・美容院へ行けるように機会を設けている<br/>可能な方は、衣料品購入へ出かけている</p>                 | <p>全スタッフが日々の中で身だしなみが乱れていたらさりげなく直せるよう支援していく</p>   |

| 項目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                     |
|-------------------------------|---|-------------------|--|
| 54                            | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>    |                   | <p>献立作りからできる方へは働きかけていく</p>   |
| 55                            | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>           |                   | <p>入居者全員の好みを知り、支援できるよう努めていく<br/>好み把握できるような様々な食材、料理を提供するよう努めていく</p> |
| 56                            | <p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>        |                   | <p>日中はトイレ誘導を強化し、極力失禁につながらないように、トイレでの排泄ができるよう支援していく</p>             |
| 57                            | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>        |                   | <p>一人一人の習慣に合わせた支援を行っていく<br/>(午前、午後など時間の希望に合わせて)</p>                |
| 58                            | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                    |                   | <p>就寝前は穏やかな時間を過ごせるよう取り組んでいく<br/>四肢の冷える方への支援</p>                    |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |   |                   |  |
| 59                            | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> |                   | <p>全ての利用者が経験や知恵を発揮できる場面の充実</p>                                     |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--|---|-------------------|--|
| 60<br>お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に<br>応じて、お金を所持したり使えるように支援している     | 所持はできていない<br>買い物の際は極力本人が支払いできるように支援している                                   |                   | 可能な方には、所持について本人の希望を伺っていく   |
| 61<br>日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                           | 天気や本人の希望に応じて可能な限り外出している<br>散歩が嫌いな方にはドライブをすすめ、季節の変化を感じていただけるような外出の機会を設けている |                   | 文化的な活動への参加   |
| 62<br>普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | 新聞などを見て「ここに行ってみたい」など声のある時に外出できるよう、スタッフ間で協力しているが、全ての利用者の支援は行えていない          |                   | 故郷などへ出かけることが可能か、家族の協力を仰いでいく  |
| 63<br>電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 家族の了承を得た上で、いつでも電話をかけられるよう支援している<br>希望があれば年賀状を送る支援も行っている                   |                   | まずは家族へ年賀状を送る<br>来たものへの返事だけでなく、こちらからの発信もすすめていく  |
| 64<br>家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 訪問時間は定めていないので、面会者の都合に合わせた対応をしている<br>面会の際、邪魔が入らないよう注意し、くつろいでいただけるよう心がけている  |                   | スタッフ側から働きかけを多くし、訪問を増やしていきたい  |
| (4)安心と安全を支える支援   |   |                   |  |
| 65<br>身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束について全スタッフが正しく理解しているとは言えない   |                   | 自覚していない身体拘束を行わないため、ミーティングなどで話し合い、閉じられた環境を作らないようにしていく<br>勉強会を開催し、全スタッフが正しく理解した上で、防ぐケアを行っていく |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                     |
|---|---|-------------------|--|
| 66<br>鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる     | できるだけ鍵をかけないケアを行なうよう心掛けているが、安全面や防犯面などを考えかかってしまうこともある                               |                   | 庭先へは自由に出入りできるよう鍵をかけないようにする<br>希望のある時は共に外へ出掛ける      |
| 67<br>利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している              | 所在確認は常に行い、事務作業は全体の状況を把握できる場所で行っている<br>居室で過ごされる方は、さりげなくプライバシーに考慮し、定期的に訪室し様子を把握している |                   | 全スタッフが利用者の動きを第一とした考え方を定着させる<br>活動制限、行動制限をせずにすむ環境作り |
| 68<br>注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている        | 全てを取り除くことのないように、利用者の状況によって注意を促しながら対応している  |                   | 難しい状況だが過去の事故での注意することを十分に活かして危険防止に努めていく             |
| 69<br>事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる     | 事故の際は、事故報告書、日々の記録へ残すとともに、家族へ報告し説明、謝罪を行っている<br>ミーティング時全スタッフで共有することで再発防止に努めている      |                   | リスク管理委員会が中心となり、スタッフの事故に対しての意識の向上を図る                |
| 70<br>急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている               | マニュアルを作成してある<br>消防署の協力もあり、年に1回は対応方法を学んでいる   |                   | 利用者に起こり得る具体例での勉強会の開催                               |
| 71<br>災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署協力の下、毎年避難訓練を行なっている<br>近隣の方々へも協力を仰いでいる  |                   | 日頃から避難訓練を行なっていく                                    |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|---|---|-------------------|--|
| 72<br>リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 様々な起こり得るリスクについて家族に説明し、話し合いを行なうよう努めている<br>リスク管理委員会を設け、さらに毎月ミーティング時スタッフ間で対応策を考えている                                |                   | 家族が理解しやすいような説明を行い、利用者の状態を細かく理解していただけるようにする                               |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援   |   |                   |  |
| 73<br>体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 日々の状況の把握、毎朝バイタル測定施行、スタッフ間での声かけを行い、異変時NSへ連絡し、状況によっては受診も行っている   |                   | その日だけでなく、前後の様子も把握する(週、月単位で)<br>定期受診の際は1ヵ月分の資料を持っていく                      |
| 74<br>服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 処方箋の用紙が個人ファイルにあり、いつでも確認、把握できるようになっている<br>薬の変更があった場合には、変化に注意しHPに相談できる体制になっている<br>服薬時は担当スタッフを決め、責任を持って内服するようにしている |                   | スタッフ全員が把握できているわけではないため、一人一人が薬の重要性を理解する<br>服薬時担当でないスタッフを常に気にかけてチェックを行っていく |
| 75<br>便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 食物繊維の豊富な食材を使用したり、毎日乳製品を摂取している<br>日中の活動量にも留意している<br>主治医と相談して下剤による排便コントロールの導入                                     |                   | 自然排便への促し   |
| 76<br>口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 毎食後スタッフがつき口腔ケアを行っている<br>1/Wポリドントにて消毒施行  |                   | 義歯だけでなく、自歯の手入れの徹底  |
| 77<br>栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている      | 一人一人の食事摂取量、水分量の把握に努め記録に残している<br>スタッフ間の情報共有も大切にし、調節を行っている。水分がとりにくい方にはゼリーなどで対応している。毎朝スタッフが検食を行う事でよりよい食事の提供へつなげている |                   |  |

| 項 目                            |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|-------------------|--------------------------------|
| 78                             | 感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)   | 入居者、スタッフ共にインフルエンザ予防接種を受けている 手洗い、うがいの徹底<br>タオルは使用せずペーパータオルを使用<br>グローブを使用し、適所消毒剤を使用している<br>換気や湿度などを気かけ、感染症の予防に努めている |                   | スタッフが持ち込まないようにマスクの着用や体調管理の徹底   |
| 79                             | 食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | まな板、布巾等の漂白<br>コンロ、水周りの清潔保持<br>冷蔵庫内定期的にチェックし、期限の確認を行うと共に、掃除を行う   |                   | 定期的ではなく毎日夜勤者が調理用具の消毒を行う        |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |  |   |                   |                                |
| (1)居心地のよい環境づくり                 |  |   |                   |                                |
| 80                             | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 花を置いたり、ベンチがあり、明るい雰囲気作りを行っている  |                   | 花の無い時期には造花の設置                  |
| 81                             | 居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホール内では季節感のある飾りつけ(松飾り 七夕雛人形 等)を行っている<br>毎月ごとのポスターを作成<br>利用者がストレスにならないよう、音や明るさにも配慮している                              |                   | スタッフ主体ではなく利用者主体で進められるものの作成     |
| 82                             | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 床座、椅子、ソファなど様々なスタイルの空間を用意し、それぞれ好みの場所で過ごせるよう提供している  |                   |                                |

| 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)        |
|--|---|-----------------------|---------------------------------------|
| 83<br>居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br>のものを活かして、本人が居心地よく過<br>ごせるような工夫をしている | 本人の使い勝手のいい配置にしたり、生活スタイルに<br>合わせており、馴染みのものや好みのも<br>のなるべく取り入れるよう家族の協力も仰いでいる                                     |                       |                                       |
| 84<br>換気・空調の配慮<br><br>気になるにおいや空気のだよみがないよ<br>う換気に努め、温度調節は、外気温と大き<br>な差がないよう配慮し、利用者の状況に応<br>じてこまめに行っている    | 温度計や湿度計を活用し、換気などで室温の調節<br>を行っている<br>時には臭いがこもることあり   |                       | 朝だけでなく定期的に換気を行う（トイレ後臭い<br>が気になるとき 等）  |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり   |   |                       |                                       |
| 85<br>身体機能を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か<br>して、安全かつできるだけ自立した生活が<br>送れるように工夫している                 | 利用者の視点からできる限り生活環境を整えている<br>状況に変化があったときはスタッフ間で話し合う<br>時間を設けている   |                       | ハード面での高さ調節など工夫していく                    |
| 86<br>わかる力を活かした環境づくり<br><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱<br>や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工<br>夫している                           | 各居室名前をかけてある<br>混乱や失敗を招かないよう、環境整備に努めている<br>生じた場合には、スタッフ間で話し合う時間を設<br>け、その都度対応している                              |                       | トイレまでの行き方が分からない方のために、床<br>や目の高さに目印を作る |
| 87<br>建物の外周りや空間の活用<br><br>建物の外周りやベランダを利用者が楽し<br>んだり、活動できるように活かしている                                       | 利用者が楽しむことができるよう、庭で花や野菜<br>を育てたり、洗濯物を自由に干せるようなス<br>ペースを作っている<br>玄関先にソファやベンチを置き、涼んだり外<br>の空気を好きな時に吸えるような工夫をしている |                       | 庭先へ自由に出られるよう足元の整備                     |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| . サービスの成果に関する項目 |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を 印で囲むこと)  |
|-----------------|--|--|
| 項 目             |  |  |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の<br><input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいの<br><input type="radio"/> 利用者の1/3くらいの<br><input type="radio"/> ほとんど掴んでいない |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | <input checked="" type="radio"/> 毎日ある<br><input type="radio"/> 数日に1回程度ある<br><input type="radio"/> たまにある<br><input type="radio"/> ほとんどない                  |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が<br><input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどいない    |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が<br><input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどいない    |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が<br><input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどいない    |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | <input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどいない    |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている            | <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が<br><input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどいない    |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族と<br><input type="radio"/> 家族の2/3くらいと<br><input type="radio"/> 家族の1/3くらいと<br><input type="radio"/> ほとんどできていない    |
| 96              | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | <input checked="" type="radio"/> ほぼ毎日のように<br><input type="radio"/> 数日に1回程度<br><input type="radio"/> たまに<br><input type="radio"/> ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )   |
|-----|---|--|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> 大いに増えている<br><input checked="" type="radio"/> 少しずつ増えている<br><input type="radio"/> あまり増えていない<br><input type="radio"/> 全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | <input type="radio"/> ほぼ全ての職員が<br><input checked="" type="radio"/> 職員の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 職員の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が<br><input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | <input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が<br><input checked="" type="radio"/> 家族等の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域との交流を深めるため、お誘いには参加している  
 レクリエーション、個々の楽しみや希望を実現することに力を入れている  
 干し柿作り、味噌作りなど昔ながらの手作りするもの続けている